

心豊かな文化のまちづくり 2000年のまちづくり



年頭のごあいさつ

横芝町長

實川堅司郎

あけましておめでとうございます。

輝かしい平成12年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

町民の皆様には、日頃より市政運営に深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、二十一世紀を目前に控え、我が国は内外の社会経済情勢が著しく変貌する中につけて、政治・経済等様々な分野において大きく変革が求められております。

このような状況に対応するため、国においても二十一世紀に向かって、わが國経済を新生させるため、15ヶ月予算という考え方で立った平成11年度第2次補正予算を編成し、機動的・弾力的な対応に努めており、地方もそれに対応しながら事業推進を図っているところであります。

また、県においても大変厳しい財政状況の中になりますが、「しば新時代5か年計画」の推進を図り、県民一人ひとりの幸せを願つた地域づくりが進められています。

昨年5月から多くの皆様にご利用いただきました。今後も、保健事業、福祉事業の拠点として更なるご活用を頂ければ幸いと存じます。

また、昨年暮れには長い間の懸案でありましたJRの列車運行が、12月のダイヤ改正により横芝駅を始発とする普通電車として運行され、更に特急電車の停車も拡大され、通勤・通学等に大変便利になりました。これで感謝申し上げます。今後も、快速電車の運行や複線化の促進等、通勤・通学者を始め、乗降客の利便性の向上に引き続き努めてまいります。

都市計画事業の推進

騒音対策事業

特に、本年は第3次基本計画の最終年にあたりますので、町民一人ひとりの生活の安定と福祉の向上を図り、農工商のバランスのとれた住みよいまちづくりのため、総力を上げて取り組んでまいります。

さて、平成12年度予算につきましては、ただ今予算の編成作業中でございますが、年頭にあたりまして、平成12年度に計画しております主な事業の概要等を述べさせていただきます。

本年は、介護保険を運営するにあたり、その目的とニーズに沿った介護サービスが提供できるよう「介護保険事業計画作成委員会」のご意見等を頂き、介護基盤の整備や環境づくりを行ってまいります。

空港公団も昨年12月には、平行滑走路の暫定措置として「暫定平行滑走路」を認定され、地

暮らし良いまちを作るため、長期的視野に立つてまちづくりのルールを定めるものです。町では平成10年度から、住民アンケートやまちづくり懇談会等を通じて、皆様方のご意見を頂きながら都市計画マスタープランの策定にとりかかってまいりましたが、平成11年度からは都市計画原案の作成事務を執り行っております。

平成12年度は、更に二十一世紀におけるまちづくりのための都市計画策定を推進してまいりたいと存じております。

本年4月より施行されます「介護保険」は、高齢化が進む中で、介護を社会全体で支える制度として本格的にスタートします。

介護保険事業

都道府県では、住み良いそして